

学生の多数「努力は報われる」。日本の将来に不安も、前向きな姿勢  
【大学3年生、将来観調査】

## 大学生の「将来観」に関する調査を発表 Re就活キャンパス 2028年卒

「努力は報われる」と考える学生は過半数。

一方で、将来の日本社会は  
「悪くなる」と考える学生が過半数。

先行き不透明感がある中で、「やりたいことを見つけて  
努力したい」という声も

つくるのは、未来の選択肢

学情  
GAKUJO  
東京プライム上場

### 【TOPICS】

- (1) 「努力すれば報われる」と考える学生が過半数
- (2) 10年後の日本社会は「悪くなる」と考える学生も過半数に
- (3) 先行きに不透明感がある中で、「やりたいことを見つけて努力したい」という声も

### 【調査の背景】

就職活動の早期化が依然として続く中、社会情勢の混迷も相まって、学生のキャリア形成を取り巻く環境は大きな変動が起きています。多くの大学生がインターンシップ等に参加し、将来の就職について考え始める3年生の時点で、将来についてどのような価値観を持っているのかを聞きました。本調査では、学生が感じている将来不安の背景を捉えるため、「努力は報われると思うか」と「10年後の日本社会の見通し」という社会観・努力観について調査しました。

### 【サマリー】

本調査では、「努力すれば報われる社会だと思う」と回答した学生が過半数となっています。一方で、10年後の日本社会について「悪くなる」と考える学生も過半となり、社会の先行きに対して慎重な見方が広がっていることが分かりました。社会全体の見通しには不透明感がある中でも、学生は「自分の選択や努力によって未来を切り開きたい」と考えている姿がうかがえます。自由記述でも、「どんな仕事を選べばよいのか分からない」といった不安と同時に、「やりたいことを見つけて努力したい」といった前向きな声が見られました。

## 【アンケートを回答した学生のフリーコメント】

「社会の将来よりも、自分がこの先どう働いていくのが不安」

「どんな仕事を選べばよいのか分からない」

「就職できるかだけでなく、その先のキャリアが見えない」

「不安なこと、わからないことが今はたくさんあるが、将来生きていくために必要なことであるため一生懸命に頑張ろうという気持ちはある」

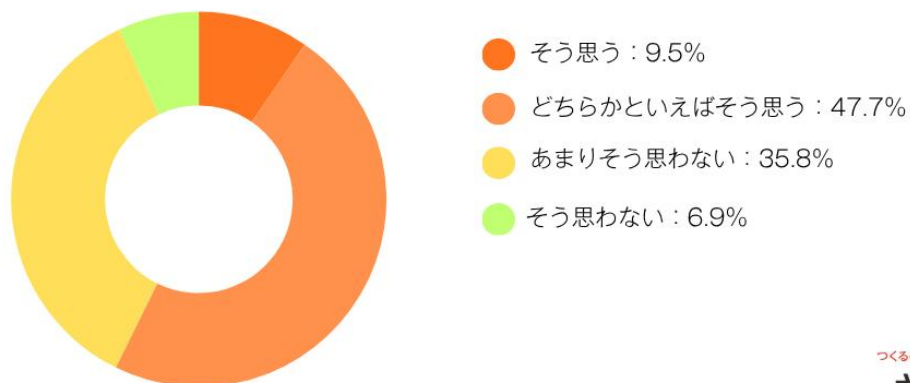
「自分のやりたいことを早く見つけて、それに向かって努力したい。」

といった声が寄せられました。

### (1) 「努力すれば報われる」と考える学生が過半数

## 「努力は報われる」と考える学生は過半数

Q：「努力すれば報われる社会」だと思えますか？



「Re 就活キャンパス 2028年卒 インターネットアンケート調査」

「『努力すれば報われる社会』だと思えますか？」という質問に対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した学生が過半数となりました。社会の見通しに不透明感を抱きつつも、自分自身の努力や選択によって将来を切り開きたいという意識がうかがえます。

**(2) 不安の理由の最多は「就職・キャリア」で、過半数に****10年後の日本社会、「悪くなる」と考える学生が過半数****Q：10年後の日本社会は、今より良くなっていると思いますか？**

「Re就活キャンパス 2028年卒 インターネットアンケート調査」

つくるのは、未来の選択肢  
**学情**  
GAKUJO  
未来アライム企業

一方で、「10年後の日本社会は、今より良くなっていると思いますか？」という質問に対し、「どちらかといえば悪くなっている」「悪くなっていると思う」と回答した学生が過半となりました。社会の先行きに対して楽観視しづらく、慎重な見方をしている学生が多いことがわかります。

**(3) 先行きに不透明感がある中で、「やりたいことを見つけて努力したい」という声も**

自由記述では、先行きの不透明感を背景に、「どのような仕事を選べばよいか分からない」といった声が見られる一方で、「やりたいことを見つけて努力したい」といった前向きな姿勢も確認できました。

社会の見通しに慎重な見方が広がる中でも、学生は「自分はどの働きたいか」「何を実現したいか」を起点に、キャリアを考えようとしている姿がうかがえます。

**■調査概要**

- ・調査期間：2026年3月13日～2026年4月6日
- ・調査機関：株式会社学情
- ・調査対象：スカウト型就職サイト「Re就活キャンパス」へのサイト来訪者
- ・有効回答人数：576人
- ・調査方法：Web上でのアンケート調査

※各項目の数値は小数点第二位を四捨五入し小数点第一位までを表記しているため、択一式回答の合計が100.0%にならない場合があります。

## ■株式会社学情とは

東証プライム上場・経団連加盟企業。2004年から、「20代通年採用」を提唱。会員数280万人の「(20代が選ぶ)20代向け転職サイト7年連続No.1・20代専門転職サイト〈Re就活〉」(2019年~2025年 東京商工リサーチ調査 20代向け転職サイト 第1位)や「30代向けダイレクトリクルーティングサービス〈Re就活30〉」、会員数60万人の「スカウト型就職サイト〈Re就活キャンパス〉」を軸に、20代・30代の採用をトータルにサポートする大手就職・転職情報会社です。

また日本で初めて「合同企業セミナー」を開催し(自社調べ)、「転職博」や「就職博」を運営。2019年には外国人材の就職・採用支援サービス「Japan Jobs」を立ち上げるなど、若手人材の採用に関する多様なサービスを展開しています。

[創業/1976年 資本金/15億円 加盟団体/一般社団法人 日本経済団体連合会、公益社団法人 全国求人情報協会、一般社団法人 日本人材紹介事業協会、日本就職情報出版懇話会、公益財団法人 森林文化協会]

<https://company.gakujo.ne.jp>

---

## ■お問い合わせ先

株式会社学情 広報担当

東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 9階

TEL:03-6775-4510 FAX:03-6263-9033

メール: [press@gakujo.ne.jp](mailto:press@gakujo.ne.jp)

コーポレートサイト: <https://company.gakujo.ne.jp/>

株式会社学情のプレスリリース一覧: [https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company\\_id/13485](https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/13485)